



より暮らしやすい行政を

遠藤宏司 議員

財政状況も勘案し、従来どおりやっていく

町 長



大石田町の冬に流雪溝は欠かせない

国保の負担軽減は均等割りを廃止している自治体があるようだが、町長 廃止している自治体は確認できない。ただし、減免している自治体はあるようだ。
国保基金が1億8千万円あるが、基金を活用して町民の負担を軽くする考えはないか。
町長 国保基金条例により、負担軽減のための取り崩しは困難です。国保事業の安定運営には基金が欠かせない。

流雪溝整備
2億円を超えた際は、見直しを検討する。
町長 この事業の採択要件には費用対効果がついて回り、現時点ではこの条件をクリアするのは非常に厳しい。採択要件が緩和されれば、流雪溝整備事業も見えてくるのではないか。



管理も難しくなっていく空き家

一条の光を消すな
町長 町の事業として廃屋に飛散防止のネットを設置した。まだまだ小さなことではあるが、手始めとして期待している。踏み切った理由は、
町長 地区住民が自分たちで何とかしようとする熱意に絆された。町のあてはまる事業を探し、環境整備事業に「やる気活動サポート助成金」として10万円を助成した。不足分は地区負担金と寄附により対応するとの報告を得た。

来年度に向けてどんなことを国に申請するのか。
町長 解体を促す助成金を交付している市町村もある。当町も実施する場合に国補助はあるのか確認している。
また行政代執行ではなく、国庫補助金を活用し町が直接解体できる制度があると聞いている。国に指導を仰ぎたい。
小学校統合
子どもの学力向上のために統合すべきではないか。
教育長 総合教育会議において、1校への統合を目指す方向に変わらない



国に先がけた空き家条例を活かせ

小玉 勇 議員

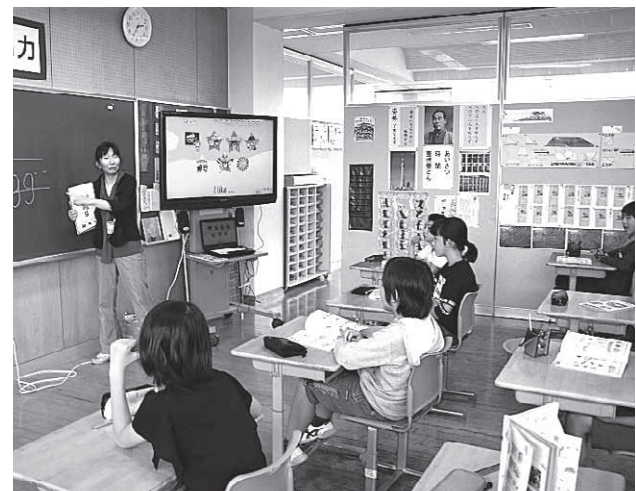
可能なものから予算化し実施する

町 長

が、現状では3校存続という結論になった。複式学級も令和6年に解消する見込み。南小北小どちらも60人程度を保つ状態。地域の活性化とあわせながら再度調整していきたい。また小規模校のデメリットをなくするため各小学校の連携を強化していく。

特化教育
一つの教科を特化する考えはないか。

教育長 義務教育は人間形成の根幹を成すものである。そのためすべての教科を学ぶ必要がある。しかしながら個別的にある教科に秀でることを目指すことも有り得る。
国際理解教育専門員の小野エイミー先生に指導を受け、英語で生計を立てている人もいる。児童生徒がいろいろな出会いにめぐり合うことを期待している。



エイミー先生の授業は楽しい（大小）



伝統行事を引き継いで（相撲大会・南小）

子どもの教育環境
入学時の国の就学援助金を、入学式以前に支給できないか。
教育長 要綱に基づき6月下旬に支給している。入学式以前に支給することとは、他市町村の動向等を調査し検討していく。
学校給食費を無料化できないか。

教育長 財政状況も勘案し、町と保護者の負担は従来どおりと考える。現状では時期尚早。
医療費の無料化を高校生まで拡大できないか。
町長 財政事情から実施できるものは限界がある。
老朽化した小学校施設の改修の施策は。
教育長 厳しい財政状況下にあるが、劣化状況等を調査し対応を検討する。